

45. 築 100 年の赤煉瓦蔵を改修したクラフトビール事業に対する支援
(愛媛県大洲市)

タイトル	赤煉瓦蔵を改修したクラフトビール醸造所兼飲食店の開業支援
銀行名	伊予銀行
取組みに至った経緯等	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年4月、当行は、大洲市、バリューマネジメント㈱、(一社)ノオト、(株)NOTEと「大洲市の町家・古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくりにおける連携協定」を締結。 ・2018年8月、大洲市は、地域DMOの(一社)キタ・マネジメントを設立。同年10月、(一社)キタ・マネジメントは、不動産管理会社の(株)KITAを設立。 ・当行は、2020年7月に「大洲まちづくりファンド」(当行が(一財)民間都市開発推進機構と設立)、2021年8月に「ALL-JAPAN観光立国ファンド」を通じて、(株)KITAにそれぞれ投資。(株)KITAの事業(町家・古民家を改修し、宿泊施設・飲食店等を営む民間事業者に貸貸・サブリースする事業)を支援。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食品容器・包装資材の製造販売業を営む大洲市を代表する企業である(株)アライは、グループ会社の(株)夢・たまごにおいて、障がい者の就労支援、福祉サービスを展開。 ・当行は、(株)アライが新規事業としてクラフトビールの醸造・販売に取り組みたいとの意向を確認。クラフトビール事業は、障がい者の就労支援で従前より取り組むベーカリー、チョコ、総菜の製造販売業との相乗効果が十分見込めると判断し、(株)アライへの支援を決定。 ・(株)夢・たまごの代表取締役は、当行紹介の赤煉瓦蔵を個人で購入。その後、(株)KITAが改修のうえ(株)アライへサブリースし、内装や醸造所・什器備品は、事業再構築補助金を活用し整備。 ・2021年9月、タッブルーム(ビアバースタイルの飲食店)を先行オープン(東京の監修者の醸造所で仕込んだビールを提供)。今後、醸造事業を開始し、オリジナルのビールを提供予定。 ・当行は、クラフトビール醸造所のための土地・建物の紹介、土地・建物購入代金の融資、事業計画策定の支援、事業再構築補助金の申請フォロー・アドバイス、販路開拓の支援を行った。 
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大洲ならではのクラフトビールの開発 ・販路開拓 ・認知度向上
関連公表資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・「大洲まちづくりファンド」の第1号案件として株式会社KITAに投資しました! https://www.iyobank.co.jp/press-release/2020/__icsFiles/afieldfile/2020/07/15/20-200.pdf ・「ALL-JAPAN観光立国ファンド」が株式会社KITAに投資しました! https://www.iyobank.co.jp/press-release/2021/__icsFiles/afieldfile/2021/08/20/21-324.pdf ・(株)アライ(愛媛県大洲市)がクラフトビール事業『臥龍醸造 GARYU BREWING』を2021年秋冬開業 タッブルーム(ビアバー)を9月23日先行オープン https://garyu-brewing.com/press-release0913.pdf